

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 2000004385 A

(43) Date of publication of application: 07 . 01 . 00

(51) Int. Cl

H04N 5/225  
B60R 1/00  
H04N 7/18

(21) Application number: 10168465

(71) Applicant: SONY CORP

(22) Date of filing: 16 . 06 . 98

(72) Inventor: DOI MASAHIRO

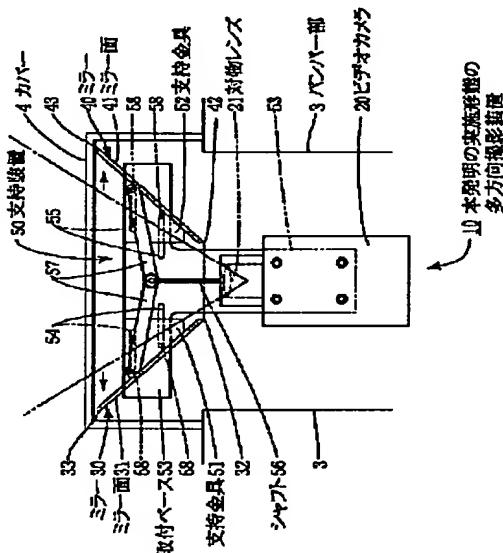
(54) MULTIDIRECTIONAL PHOTOGRAPHING DEVICE

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a multidirectional photographing device which can photograph objects of a plurality of directions with a single video camera and which can easily recognize safety, when it is especially mounted on a vehicle.

SOLUTION: In a peripheral photographing device 10, the side end edges 32 and 42 of an objective lens 21 side are abutted by turning mirror faces 31 and 41 outward. Respective side end edges 33 and 43 on the opposite side are opened and are inclined in a V-form, and two mirrors 30 and 40 are installed in front of a video camera 20. At photographing of a front direction, the abutted side end edges 32 and 42 of the mirrors 30 and 40 are opened. At photographing of a periphery, the side end edges 32 and 42 are abutted on the center line of the objective lens 21.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO



(51) Int.Cl.  
 H 04 N 5/225  
 B 60 R 1/00  
 H 04 N 7/18

識別記号

F I  
 H 04 N 5/225  
 B 60 R 1/00  
 H 04 N 7/18

テマコト(参考)  
 C 5 C 0 2 2  
 A 5 C 0 5 4  
 F

審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全5頁)

(21)出願番号

特願平10-168465

(22)出願日

平成10年6月16日(1998.6.16)

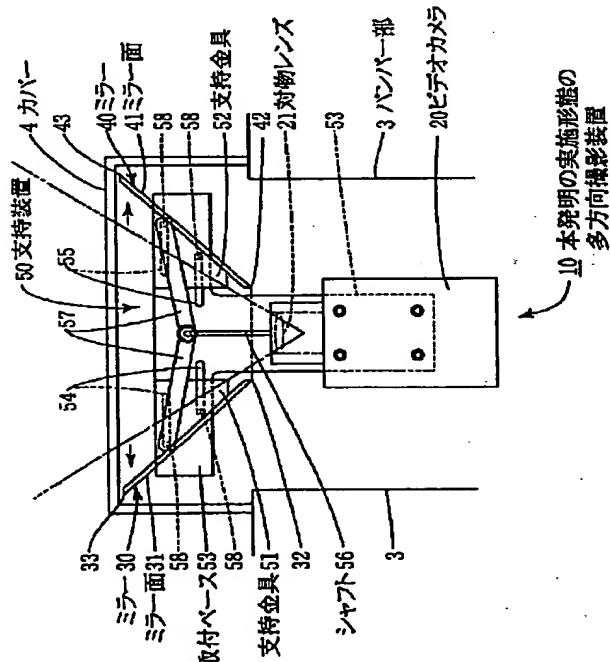
(71)出願人 000002185  
 ソニー株式会社  
 東京都品川区北品川16丁目7番35号  
 (72)発明者 土肥 正宏  
 東京都品川区西五反田3丁目9番17号ソニーエンジニアリング株式会社内  
 (74)代理人 100062834  
 弁理士 高橋 光男  
 Fターム(参考) 5C022 AA04 AC01 AC26 AC42 AC51  
 AC54 AC78  
 5C054 AA01 CA04 CC03 CE11 CF03  
 FA02 FE11 FE18 HA30

(54)【発明の名称】 多方向撮影装置

## (57)【要約】

【課題】 1台のビデオカメラで複数方向の対象物を撮影でき、特に車両に搭載した場合には安全が確認しやすい多方向撮影装置を得ること。

【解決手段】 本発明の実施形態の周辺撮影装置10は、ビデオカメラ20の前方に、かつミラー面31、41を外側にして、対物レンズ21側の側端縁32、42を衝合できるように、そして反対側の各側端縁33、43を開いてV字状に傾斜させて2枚のミラー30、40を配設し、前方方向を撮影する場合には、ミラー30、40の衝合している側端縁32、42を開き、周辺を撮影する場合には、前記側端縁32、42を対物レンズ21の中心線上に衝合させるように構成されている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 対物レンズを備えたビデオカメラと、該ビデオカメラの前記対物レンズの前方に、かつミラー一面を外側にして、前記対物レンズ側の側端縁を衝合できるように、そして反対側の各側端縁を開いてV字状に傾斜させて配設された複数枚のミラーと、該ミラーと前記ビデオカメラとで撮影された映像を表示する映像表示装置と、前方方向を撮影する場合には、前記各ミラーの衝合側端縁を開き、周辺を撮影する場合には、前記対物レンズ側の前記各ミラーの側端縁が前記対物レンズの中心線上に衝合させ、前記各ミラーのミラー一面を前記対物レンズに對して傾斜させる支持装置とから構成されていることを特徴とする多方向撮影装置。

【請求項2】 前記支持装置は前記複数枚のミラーを連結する1本のシャフトと、該シャフトの先端部に回動自在に連結されたアームとから構成されていることを特徴とする請求項1に記載の多方向撮影装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、例えば、固体撮像素子(CCD)からなるビデオカメラを用いた多方向撮影装置に関し、特に車両の先頭部に搭載して進行方向及びその周辺部の交通状況を確認したい場合の周辺確認装置として用いて好適な多方向撮影装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 先ず、図を参照しながら、従来技術の車両に搭載されている多方向撮影装置を説明する。図4は従来技術の周辺確認装置を備えた車両の上面図である。

【0003】 近年、自動車などの車両に用いられている多方向撮影装置として、電子映像撮影装置であるビデオカメラを用いるものが提案されている。この車両100における多方向撮影装置110は、例えば、図4に示したように、車体111の前部と前部左右にそれぞれ配設されたビデオカメラ120、130、140と、これらのビデオカメラ120、130、140が撮影した映像を運転室で表示するための、例えば、液晶表示装置(LCD)などの映像表示装置150とから構成されている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】 この多方向撮影装置100では、前記ビデオカメラ120が主として車両100の前方方向の対象物を撮影し、障害物の有無を確認する役割を持ち、前記ビデオカメラ130は左側方を、そして前記ビデオカメラ140は右側方を撮影し、障害物の有無を確認する役割を分担するものである。このように従来技術の多方向撮影装置110は確認(或いは監視)方向別にそれぞれビデオカメラを配設しており、複数台のビデオカメラを必要とするものであった。また、

確認方向の視野角を拡大するために、各ビデオカメラの対象レンズとして広角レンズが使用されており、この広角レンズを使用すると、対象物が相対的に小さく見えるため、障害物の確認がし難くなるという課題がある。

【0005】 本発明は、これらの課題を解決しようとするものであって、1台のビデオカメラで複数方向の対象物を撮影でき、特に車両に搭載した場合には安全が確認し易い多方向撮影装置を得ることを目的とする。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】 従って、請求項1に記載の本発明では、多方向撮影装置を、対物レンズを備えたビデオカメラと、そのビデオカメラの前記対物レンズの前方に、かつミラー一面を外側にして、前記対物レンズ側の側端縁を衝合できるように、そして反対側の各側端縁を開いてV字状に傾斜させて配設された複数枚のミラーと、そのミラーと前記ビデオカメラとで撮影された映像を表示する映像表示装置と、前方方向を撮影する場合には、前記各ミラーの衝合側端縁を開き、周辺を撮影する場合には、前記対物レンズ側の前記各ミラーの側端縁が前記対物レンズの中心線上に衝合させ、前記各ミラーのミラー一面を前記対物レンズに対して傾斜させる支持装置とから構成して、前記課題を解決している。

【0007】 また、請求項2に記載の多方向撮影装置では、前記支持装置が前記複数枚のミラーを連結する1本のシャフトと、そのシャフトの先端部に回動自在に連結された複数本のアームとから構成されている。

【0008】 従って、請求項1に記載の本発明の多方向撮影装置では、1台のビデオカメラで多方向の対象物を比較的見易い状態で確認することができる。また、請求項2に記載の本発明の多方向撮影装置では、複数枚のミラーを同時に対称的に開閉することができる。

## 【0009】

【発明の実施の形態】 以下、図を参照しながら本発明の実施形態の多方向撮影装置を説明する。図1は本発明の実施形態の多方向撮影装置を備えた自動車の上面図、図2は本発明の実施形態の多方向撮影装置を略線的に示した、ビデオカメラの前方方向を撮影する状態の上面図、そして図3は図2に示した状態から左右方向を撮影する状態の本発明の実施形態の多方向撮影装置を略線的に示した上面図である。

【0010】 図1において、符号1は本発明の実施形態の多方向撮影装置を備えた車両を指す。この車両1には、その車体2の前方部、例えば、バンパー部3の中央部に本発明の実施形態の多方向撮影装置10が配設、固定されており、その多方向撮影装置10により撮影された前方方向及び左右方向の映像が運転席の近傍に配設されているLCDを搭載した映像表示装置60で表示されるように構成されている。

【0011】 この多方向撮影装置10は、図2に示したように、ビデオカメラ20と、その対物レンズ21の前

方の左右に配設された一対のミラー30、40と、これら一対のミラー30、40を支持する支持装置50とから構成されている。

【0012】前記ビデオカメラ20は、例えば、バンバー部3の中央部に配設、固定されており、対物レンズ21を備えている。前記一対のミラー30、40は、図2において、互いに外方側にミラー面31、41が存在するように、それぞれの裏面側が支持装置50の一構成部品である支持金具51、52で垂直に支持されている。そして、それぞれのミラー30、40は、それぞれの支持金具51、52に、対物レンズ21側の各ミラー30、40の側端縁32、42が、図3に示したように、衝合できるように、そして反対側の各側端縁33、43がより幅広く開いてほぼV字状を形成するように傾斜した状態で、支持されている。これらの傾斜角度は対物レンズ21に対して40°～50°の範囲に定めるとよいが、必要な視界が得られるように設定されるものである。

【0013】前記支持装置50は前記支持金具51、52、T字型の取付けベース53、1本のシャフト56、一対のアーム57及び複数本のガイドピン58とから構成されている。前記取付けベース53はビデオカメラ20及び支持金具51、52の下方に配設されており、その取付けベース53はバンバー部3の下方に固定されている。そして取付けベース53のT字の横棒部分の両端部には、それぞれ一対の互いに平行なスリット54、55が形成されている。そして取付けベース53の縦棒部分にはビデオカメラ20がビスなどで固定されている。

【0014】前記取付けベース53の縦棒部分の中央上方部には、その長手方向に伸びるシャフト56が配設されており、このシャフト56の基端部は電磁シリンダーなどの駆動装置(不図示)に接続されていて前後に駆動される。シャフト56の他端部には一対の同一長さのアーム57が左右の横方向に回動自在に連結されている。また、前記支持金具51、52はこれらのアーム57の先端部に回動自在に連結されている。そして支持金具51、52の下面には前記一対のスリット54、55に挿入されて案内される2本のガイドピン58がそれぞれ垂直に形成されている。前記多方向撮影装置10全体は透明なカバー4で覆われ、保護されている。

【0015】次に、以上のように構成された本発明の実施形態の多方向撮影装置10の動作を説明する。先ず、ビデオカメラ20の前方方向を撮影する場合を説明する。この場合には、図2に示したように、駆動装置を作動させて(或いは不作動にして)、前記各ミラー30、40の衝合側端縁32、42を開き、各ミラー30、40のミラー30、40から反射してくる像が対物レンズ21に入射しないようにする。かくして対物レンズ21の前方方向にはミラー30、40が存在せず、直接、対物レンズ21で前方方向の情景を撮影することができ

る。

【0016】この前方方向を確認する状態から左右の情景を撮影、確認する場合には、図3に示したように、駆動装置を不作動にして(或いは作動させて)、前記対物レンズ21側の前記各ミラー30、40の側端縁32、42を前記対物レンズ21の中心線上に衝合させ、各ミラー30、40のミラー面31、41を対物レンズ21に対して所定の傾斜角度に傾斜させる。この場合、シャフト56がビデオカメラ20側に後退し、両アーム57の連結部分も後退し、これにつれガイドピン58が各スリット54、55に沿って、図2に示した状態の各スリット54、55の外方端から図3に示した状態の内方端にまで移動する。この移動にしたがって、ミラー30、40が対物レンズ21側にスライドしてきて、各ミラー30、40の側端縁32、42が対物レンズ21の中心部で衝合し、かつミラー30、40が若干勾配の角度が増す。即ち、支持装置50はシャフト56の前後の動きでミラー30、40の左右の動きに動作方向を変換する機能を備えているものである。

【0017】かくして、ミラー30、40のそれぞれのミラー面31、41で反射された周辺の情景が対物レンズ21を介してビデオカメラ20で撮影され、それらの映像が映像表示装置60(図1)の表示画面の中央部を中心にしてそれぞれ左右に映出され、運転者は左右の周辺交通状況を安全に確認することができる。

【0018】左右に配設した前記一対のミラー30、40はシャフト56の前後方向への作動により、それぞれのミラー30、40が斜め前方に移動し、それぞれの対物レンズ21側の側端縁32、42が開くと同時に反対側の側端縁33、43も開くような支持装置50で支持されているが、側端縁32、42を開閉させる機構としては、この他、例えば、各ミラー30、40の側端縁33、43を回動中心にして対物レンズ21側の側端縁32、42が開閉できる機構で支持するように構成してもよい。前記支持装置50はミラー開閉機構の一例であることを付言しておく。

【0019】また、前記の実施形態の多方向撮影装置10では左右の周辺の情景を撮影できるように2枚のミラー30、40をビデオカメラ20の前方の左右方向に開閉できるように配設したが、本発明の多方向撮影装置の使用目的によっては、2枚のミラーを上下方向に開閉できるように配設してビデオカメラの前方方向及び上下方向の周辺の情景を撮影できるように構成してもよく、更にまた、左右上下方向にそれぞれミラーを開閉できるように配設してビデオカメラの前方方向のみならず、左右上下方向の周辺の情景を撮影できるように構成することもできる。

【0020】本発明の前記実施形態の多方向撮影装置は、車両に適用し、搭載した場合の例として示して説明したが、本発明の多方向撮影装置は車両用のみに限定さ

れるものではなく、家屋、社屋などの建物などの内外で一般的に用いられている監視用の周辺撮影装置にも適用できることを付言しておく。

【0021】

【発明の効果】以上の説明から明らかのように、本発明の実施形態の多方向撮影装置は、

1. 1台のビデオカメラで複数方向の情景を確認することができる
2. 視界を切り換えることができるので、対物レンズとして広角レンズを備えたビデオカメラを使用する必要がなく、広角レンズを用いた場合に比べて対象物が相対的に大きく見え、安全に確認し易い
3. 高価なビデオカメラの台数を削減できるので、コストダウンが計れるなど、数々の優れた効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施形態の多方向撮影装置を備えた

自動車の上面図である。

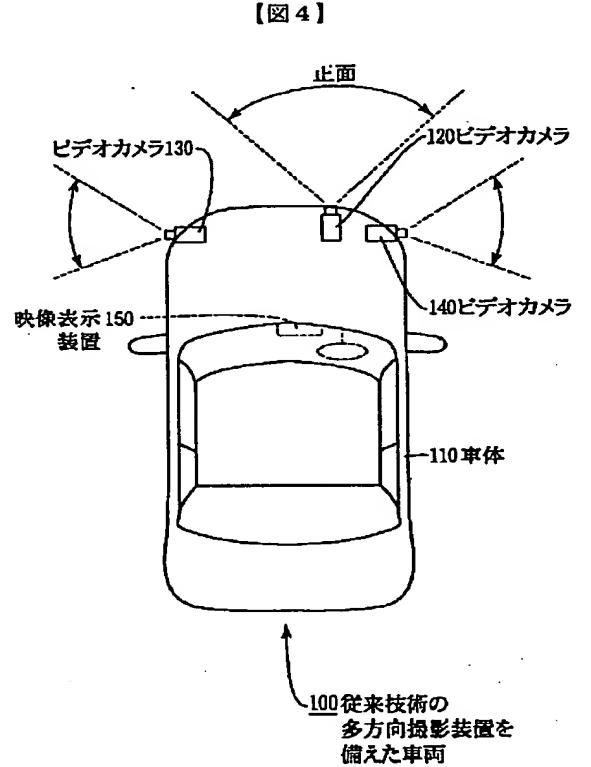
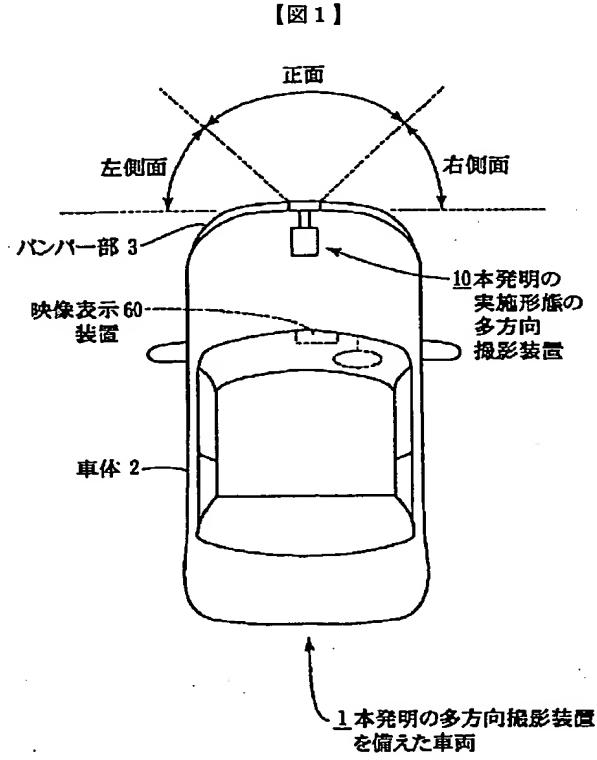
【図2】 本発明の実施形態の多方向撮影装置を略線的に示した、ビデオカメラの前方方向を撮影する状態の上面図である。

【図3】 図2に示した状態から左右方向を撮影する状態の本発明の実施形態の多方向撮影装置を略線的に示した上面図である。

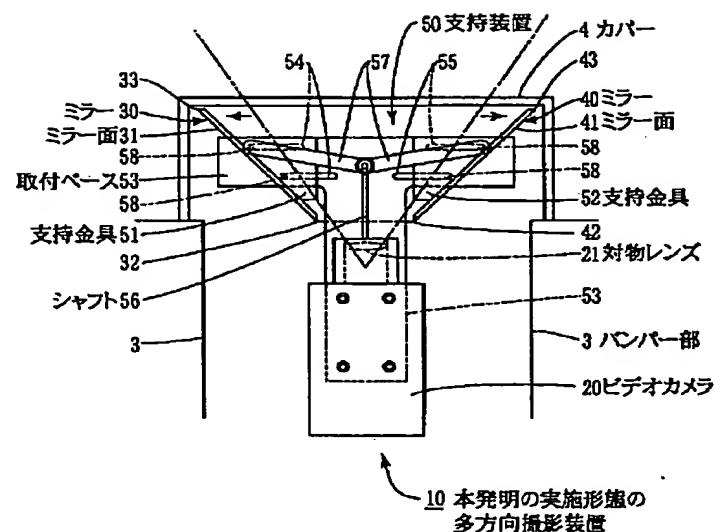
【図4】 従来技術の多方向撮影装置を備えた自動車の上面図である。

10 【符号の説明】

100…本発明の実施形態の多方向撮影装置、20…ビデオカメラ、21…対物レンズ、30, 40…ミラー、31, 41…ミラー一面、32, 42…ミラー30、40の対物レンズ21側の側端縁、33, 43…ミラー30、40の側端縁32、42とは反対側の側端縁、50…支持装置



【図2】



【図3】

